

日本ロールシャッハ学会主催

第11回ロールシャッハ研修会 開催案内

「現場で役立つロールシャッハ法の実践ーテスト・バッテリーの視点も加えてー」

ロールシャッハに現れる反応の特徴をクライアント理解と支援にどのように活かすかということは、臨床家にいつも問われていることではないでしょうか。そして、これはロールシャッハ法だけに限られたことでもありませんので、今回はテスト・バッテリーという視点からの学びを深めてみることにしました。また、さまざまな手がかりを臨床に活かすためには、ドクターを始めとする他職種へのレポートの書き方も重要な職務となります。大学院生から熟練の先生まで、多方面からの研修コースを用意しました。

平和都市広島で、お目にかかれますことを楽しみにしております。

平成29年10月吉日

日本ロールシャッハ学会主催第11回ロールシャッハ研修会

準備委員長 田形 修一

◇ 研修会プログラム

I. 期日：平成30年7月1日（日）10:00～16:30（受付9:30～）

II. 会場：広島国際大学広島キャンパス（〒730-0016 広島県広島市中区鞆町1-5）

III. 日程：

受付 9:30～10:00

分科会 10:00～15:45 ※12:10～13:30は、昼食および休憩の時間となります。

全体会 15:45～16:30

IV. 定員：計120名（各コース40名先着順）

V. 受講資格：「臨床心理士」有資格者、臨床心理学や精神医学を専門とする専門職もしくは大学院生で守秘義務の課せられている方。

VI. 参加費：

日本ロールシャッハ学会正会員	5,000円
大学院生	3,000円
非会員	7,000円

VII. 研修会の内容と講師：A, B, Cのいずれかの分科会に参加していただきます。皆様のご希望に沿うように調整いたしますが、会場の都合上ご希望に添えない場合もございますので、ご了承ください。

・分科会

A コース 「ロールシャッハ・テストと描画テスト—それぞれの特徴とその生かし方」

講師：高橋依子先生（大阪樟蔭女子大学）

ロールシャッハ・テストと描画テストは、ともに投映法として臨床現場で広く用いられています。両テストともパーソナリティの全体像を捉えるテストですが、同時にテストバッテリーとして実施されることが多いのも事実です。それはそれぞれのテストで捉えるパーソナリティの側面が異なるからです。それぞれのテストの特徴を検討し、テストバッテリーとして用いるときの利点について考えたいと思います。

B コース 「ロールシャッハ法の所見をブラッシュアップする」

講師：加藤志ほ子先生（南青山心理相談室）・吉村聡先生（上智大学）

「現場の要請にこたえられる所見を書けるようになりたい！」と願う皆さんと一緒に、所見の書き方の実際を学びます。1時間の講義の後、事例検討会を行います。事例提供者には、テスト・データとともに所見をお示しいただき、講師とともに解釈と所見を考えていきたいと思ひます。皆様のご参加をお待ちしています。

C コース 「院生・初学者のための臨床投映法」

講師：篠竹利和先生（東京医科歯科大学医学部附属病院）

心理検査は検査を熟知しないと実施できません。そこでまず、スコアリング法の違いを超えたロールシャッハ解釈の基本眼目を解説し、それを踏まえた実施上の留意点に触れていきます。次いで事例検討では、初学者が現場でまず実施することの多いウェクスラー法の投映法的側面についての解説を交えつつ、ロールシャッハ法とのバッテリー事例を採り上げます。久しく実践から離れていてブラッシュアップ希望の方も歓迎します。

・全体会

「現場で役立つロールシャッハ法の実践—テスト・バッテリーの視点も加えて—」

各分科会の報告／シェアリングから上記テーマにつなげた質疑応答

VIII. 分科会の検討事例の提供者募集

各コースで、ロールシャッハ法を中心としたテスト・バッテリー事例を1件ずつ募集いたします。Aコースは包括システムかつHTPPテストを含んだ事例が望ましいが、他の描画テストでも可。Bコースは片口法、包括システムどちらでも可、SCTを含んだ事例が望ましい。Cコースはウェクスラー式知能検査の各下位検査の質的な特徴が記録されていることが望ましい、またロールシャッハ法は自由反応段階・質疑段階ともに、受検者の反応を逐語的に記録したデータを備えていることが望ましい。各コースの事例提供希望者は、概要を200字以内でまとめて、研修会事務局宛に平成30年3月30日（金）までにメールにてお申込み下さい。所属、連絡先、ロールシャッハ経験年数を明記の上、個人情報に配慮して、Microsoft Word形式にてお送りください。

IX. 参加申込方法：

「申し込みフォーム」に必要事項を記入して、メールにてお申し込み下さい。

参加申込期限は平成30年5月16日（水）です。受付は先着順とします。受講の可否については後日、研修会事務局よりメールにてご連絡いたします。

参加費は参加確定の通知（メール）受領後、郵便局通帳または郵便局備え付けの用紙を用いて、**平成30年6月15日（金）**までに下記の口座にご送金下さい。振り込み確認後、参加確定となります。

ます。参加当日は振り込み控えを必ずお持ち下さい。いったん振り込まれた費用は返金出来ませんのでご了承願います。

郵便口座番号 記号12400 番号2044831

(他行より振り込まれる場合は、以下へお願いします。名義は同一です)

ゆうちょ銀行普通預金 店名(店番):二四八(248) 口座番号0204483

加入者(名義) 日本ロールシャッハ学会主催研修会

X. 宿泊・昼食:各自、適宜手配して下さい。会場内は飲食可能です。クロークはございません。

XI. 臨床心理士資格認定協会の研修ポイント

日本臨床心理士資格認定協会 教育・研修規定別項・第2条(3)「本協会が認める関連学会での諸活動への参加」として、**2ポイント**が認められています。

XII. 研修会に関する連絡先:

日本ロールシャッハ学会主催第11回研修会準備委員会事務局

事務局長:寺沢英理子 庶務:森田麻登

E-mail: terasawa@he.hirokoku-u.ac.jp または a-morita@he.hirokoku-u.ac.jp

*研修会についての連絡は、メールにてお願いいたします。なお、メールの件名に【11回研修会】と入れて送信してください。

【研修会場】 広島国際大学広島キャンパスへのアクセス方法



JR 広島駅から城南通りを紙屋町方面へ、ロイヤルホストの先を左折、右側に広島キャンパスがございます。

◇飛行機でお越しの方

・広島空港から広電リムジンバスに乗り JR 広島駅新幹線口に降り、徒歩 15 分 (所要時間約 60 分)

◇新幹線・JR・バスでお越しの方

・JR「広島駅」南口から徒歩 15 分

◇駐車場

・本学に駐車場はございません。公共交通機関をご利用になるか、周辺のコインパーキングをご利用ください。

【申し込みフォーム】

メールでお申し込みください。

(下記項目をそのままメールにご記入ください。)

日本ロールシャッハ学会主催 第11回ロールシャッハ研修会に申し込みます。

宛先：広島国際大学大学院心理科学研究科実践臨床心理学専攻 田形修一 宛
(〒730-0016 広島市中区鞆町 1-5 広島国際大学広島キャンパス)

申し込み先メールアドレス：rorschach11kai@gmail.com

- 1) 氏名 (フリガナ) :
- 2) 住所 (連絡先) : 〒
- 3) メールアドレス :
- 4) 電話 : (勤務先 ・ 自宅)
- 5) FAX : (勤務先 ・ 自宅)
- 6) 所属 :
- 7) 職種, または大学院生などの別 :
- 8) 臨床心理士登録番号 :
- 9) 日本ロールシャッハ学会員で (ある ・ ない)
- 10) 分科会の希望 (カッコ内に希望する順番で数字の1から3をご記入ください)
() A: 高橋依子先生「ロールシャッハ・テストと描画テスト」
() B: 加藤志ほ子先生・吉村聡先生「ロールシャッハ法の所見をブラッシュアップする」
() C: 篠竹利和先生「院生・初学者のための臨床投映法」
- 11) 事例提供の希望 (あり ・ なし)

申し込み締め切り 平成30年5月16日(水)